

遼寧省檔案館編

日本侵華罪行檔案新輯（一三）

廣西師範大學出版社

遼寧省檔案館編

日本侵華罪行檔案新輯

(一三)

廣西師範大學出版社

騎興奉治發第一一九號

第五回騎集奉天省治安維持會委員會議事ノ狀況ニ關スル件
報告（通牒）

昭和九年三月三十一日

騎集奉天省治安維持會委員長

石 本

參 謀

久米 總務部長

殿

首題ノ件別冊ノ通りニ付報告（通牒）ス

總務廳長



總務科長



審核股長



第五回騎集奉天省治安維持會委員會議事錄

昭和九年三月二十七日

昭和九年三月二十七日午前九時ヨリ洮南縣公署ニ於テ第五回騎集奉天省治安維持會委員會ヲ開催シ左記議題ニ付キ議事ヲ了セリ

一、委員長挨拶ノ要旨

四月以降軍ノ配置並兵團ノ警備地域變更ニ伴ヒ洮遼八縣地方治安維持ハ齊々哈爾師團之ヲ擔任スルコトナリ同師團ニ於テハ更ニ洮遼八縣並興安南分省ノ治安維持ヲ在洮南騎兵旅團之ヲ擔任スル如ク區署セリ又治安維持會ハ當分存續スル如ク決定セラレタルモ今回軍配置變更ニ伴ヒ是等ノ業務ハ努メテ滿洲國側機關ニ移讓スルコトトナルニ至レリ

從テ今日ノ委員會ニ於テハ從業業務ノ縮ククリヲナスト共ニ新組織へ移轉スル爲ノ基礎ヲ確立スルニ在ルヲ以テ相互隔意ナキ意見ノ交換ヲ行ヒ以テ本會合ノ目的ヲ達成セラレンコトヲ望ム

二、狀況報告

委員長報告

第四回治安維持會委員會開催以後委員長トシテ特ニ此際報告スヘキ重要

稟項ナキモ前同ノ委員會ニ於テ各位ノ努力ヲ要望シ置キタル民間武器ノ回收ハ其後順調ニ進捗シ既ニ洮安、洮南及突泉ノ三縣ニ於テハ買收價格合計約四千圓ノ武器ヲ回收シ其他ノ各縣ニ於テモ近ク之ニ着手シ得ルノ機運ニ在ルハ洵ニ同慶ニ堪ヘサルトコロナリ

各縣報告

別紙附錄ノ如シ

三 警備區域變更ニ伴フ治安維持會ノ方針及機構ノ改變ニ就テ（委員長說明）

治安維持會ハ四月以降本年秋季頃迄ヲ目途トシテ引續キ之ヲ存續スルモノトシ四月一日以降軍ノ配置並警備地域變更ニ伴ヒ治安維持會ノ方針及機構ノ改編ヲ左記ノ如クナス旨中央治安維持會幹事長ヨリ通牒アリタルニ付茲ニ之ヲ通達ス

（一）四月以降治安維持會繼續ニ伴フ方針

現行方針ニ基ク事業ヲ繼續シ更ニ其改善促進ヲ期ス

追テ武器ノ回收ニ就テハ有償回收ヲ原則トシ可成治安維持會設置間ニ回收スルコトトシ具体案研究中ナリ

（二）四月以降治安維持會ノ機構ニ關スル件

昭和九年（康徳元年）四月以降治安維持會特別規定中一部ヲ左ノ如ク改

ム

記

一、當分ノ間治安維持會ノ機構ハ概ネ現制ヲ持續ス

二、特別規定中關東軍警備司令官トアルヲ防衛司令官ト改ム

三、治安維持會ノ管區ハ日本軍ノ新防衛地區ニ從ヒ設置ス

地方治安維持會委員長（兵團幕僚長）ハ所屬司令官ノ意圖ヲ承ケ地方治安ノ狀態日混軍警ノ警備能力、行政區畫等ヲ顧慮シ中央治安維持會委員長ノ認可ヲ經テ治安維持會ニ關スル特別規定ノ趣旨ニ準シ當該防衛地區内ニ於ケル治安維持會ノ機構ヲ定ムルモノトス

附

一、治安維持會ニ要スル經費ハ行政系統ニ依リ令達ス

二、地方治安維持會委員長ハ日本軍新防衛地區ニ從ヒ所要經費ノ配當ヲ行フモノトス

注意

一、省治安維持會ノ名稱ハ日本軍新防衛地區ノ名稱ニ防衛ノ二字ヲ加ヘ

ヲ稱呼ス

例 東防衛地區治安維持會

二、地區治安維持會ハ著明ナル地名ヲ冠スルヲ例トス

例 吉林地區治安維持會

右ニ關シテ委員長ノ補足の説明

一、過般關係主任者新京ニ參集シタル際中央ノ意圖トシテ省治安維持會ノ機構ハ現制ヲ其繼續スルモ縣治安維持會ハ特別ノ事情ナキ限り四月以後縣長ヲ以テ委員長トナシ日本軍部隊長（幕僚）ハ顧問トシテ內面的指導ニ當ル旨ヲ原則トスル旨指示アリタリ從テ爾後特ニ業務ノ運用ヲ適切ニシ澁滞ナカラシムルト共ニヨク實情ニ即シ新組織ニ依ル業務ノ推移ヲ圓滑ナラシムル樣格段ノ配慮ヲ望ム

二、右ノ如ク縣治安維持會ニ於テハ日本軍ハ裡面的指導ノ立場トナルモ各兵團長ハ依然關東軍命令ニ依リ治安維持ニ關シ警備地域内ニ在ル日滿軍警ヲ區處スルノ權ヲ有スルヲ以テ必要ニ應シ治安維持ニ關シ關係諸機關ニ所要ノ指令ヲ與フヘク日本軍ノ表面ヨリ手ヲ引ク爲メ治安維持上統制ニ缺陷ヲ生スヘキヤノ不安ハ杞憂ナリト云フヘシ

四、民政部警務司案民間散在武器回收對策ニ關スル協議

原 案

一、康德元年十月以降左記該當者以外ハ銃器ノ私有ヲ禁ス
但迫擊砲、機關銃、其他之ニ類スルモノハ其所持ヲ禁止ス

(1) 甲ノ自衛團 長銃二十挺（彈丸二〇發）平均

(2) 官ニ於テ所持ヲ許可シ課稅義務ヲ履行シタルモノ

ニ回收ノ方法

(1) 買 收

康德元年十月末迄ヲ届出者ニ對シテハ銃器ノ機能程度ヲ斟酌シ最低價格ニ於テ買收ス（一銃五圓、一彈五錢平均）

(2) 沒 收

右期間中ニ届出テサル隱匿兵器ハ之ヲ沒收ス

三回收順序

回收ハ畫一的ナルヲ避ケ治安狀況ヲ顧慮シ治安良好ナル地方ヨリ漸次實施スルモノトス

四經 費

武器回收ニ要スル經費ハ之ヲ特別會計トシ現金買收ヲ本旨トス

修正案

左記ノ如ク修正ヲ要スルモノト認メ中央治安維持會ニ報告スルモノトス

(一) 一般ノ趣旨ニ就テハ異存ナシ

(一) 銃器ノ私有禁止ヲ十月以降實施スル如クナリ居ルモ洮南地方ノ如ク武器回收工作進捗シアル方面ニ在リテハ成ルヘク速ニ之ヲ實施スル如ク餘地ヲ存セシメルコト

(二) 課稅額ハ統制上中央ニ於テ大体ノ標準ヲ示スコト
又銃器ヲ以テ生業ヲ營ム者ニ對スル課稅ハ特ニ減少若クハ免除スルヲ要スルコト

(三) 銃器ノ沒收ハ從來數次ノ調査ヲ行ヒタル際今回以後隱匿銃ハ沒收スル様布告シアルヲ以テ地方ニ依リテハ十月ヲ待タス直チニ沒收シ得ル様餘裕ヲ存セシムルコト

(四) 買收價格ハ洋砲ヲ含ミ平均五圓トシ且從來同様最高額ヲ規定スル事
(長銃十五圓、拳銃二十圓、洋砲二圓等)

市民間散在武器回收ノ狀況

民間散在武器回收ニ就キテハ治安確立上重要ナル工作トシ第四回委員會席上委員長ヨリ特ニ其進捗ヲ要望スル所アリ

幸ユ各機關ノ獻身ノ努力ニ依リ其成績大ニ見ルヘキモノアリ其一般ノ狀況左表ノ如シ

而シテ本工作ハ中央ノ要求ニ基キ毎月其狀況ヲ順ヲ追ツテ中央ニ報告ス

ルト共ニ將來モ從來ノ通り銃器ヲ日本軍ニ納付シタル後其經費ヲ發給ス
ルトコトトスヘシ

縣別 / 區分			洮南縣			洮安縣			鎮東縣			安廣縣			瞻榆縣		
種類			長銃	拳銃	洋砲	長銃	拳銃	長銃	長銃	拳銃	長銃	長銃	拳銃	長銃	長銃	拳銃	洋砲
豫 想 數	散 在 武 器	調 查 濟 數	一、六〇五	七五三	三、五六二	一、二三九	五〇六	一、二七三	二、三三八	二、三三八	二、三三八	二、三三八	六九七	二、三三八	七一〇	一七三	二、〇九二
			一、六〇五	七五三	三、五六二	一、二三九	五〇六	一、二七三	二、三三八	二、三三八	二、三三八	二、三三八	六九七	二、三三八	七一〇	一七三	二、〇九二
豫 定 數	四 月 回 收	四 月 以 降	一、〇八〇	一〇六	一二五	二六七	二二四	三二五	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一三七	一三七	一三七	七二二	一〇〇	二〇〇
			一、〇八〇	一〇六	一二五	二六七	二二四	三二五	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一三七	一三七	一三七	七二二	一〇〇	二〇〇
豫 定 數	四 月 以 降	四 月 以 降	一、〇八〇	一〇六	一二五	二六七	二二四	三二五	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一三七	一三七	一三七	七二二	一〇〇	二〇〇
			一、〇八〇	一〇六	一二五	二六七	二二四	三二五	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一三七	一三七	一三七	七二二	一〇〇	二〇〇

合 計	通 遼 縣	突 泉 縣	開 通 縣
洋 拳 長	洋 拳 長	洋 拳 長	洋 拳 長
一〇、九二五 五〇六二五 一三、三四九	一、九九七 九一七 四八〇七	一、〇四五 二八四 一、三八八	一、五〇〇 三四四 一、五〇〇
一〇、九二五 五〇六二五 一三、三四九	一、九九七 九一七 四八〇七	一、〇四五 二八四 一、三八八	一、五〇〇 三四四 一、五〇〇
一、三三五 三四一 一二八		一、二九 七	一、一三
二、五〇一 五二二 二〇		二〇〇 五〇	五、一四
二、三九九 三二三 一〇四六		三〇〇 〇〇	六、四六

256

第五回騎集奉天省治安維持會委員會附錄

昭和九年三月二十七日
於澠南縣公署

附 錄

各縣狀況報告

洮南縣

當縣ハ本年二月ヨリ省宣撫班ノ組織改編ニ伴ヒ宣撫工作ノタメ青年同志會ヲ組織シ中心人物ノ養成ニ重キヲ置キ一週一回修養會ヲ開催シアリ而シテ未タ開設日淺キヲ以テ豫期ノ成果ヲ收メ居ラサルハ遺憾ナリ

銃器回收ニ就キテハ三月十五日縣委員會ノ決議ニ基キ二十日ヨリ二十五日ニ亘リ城内ハ完了セルカ城内商農會長其他有產者中銃器ヲ回收サルルハ不安ナリトノ言ヲ洩セルモノアリタリ

又城外ハ來月一日ヨリ二十九日ニ亘リ回收ヲ實施スル豫定ナリ是ニテ銃器ノ回收ハ四月一杯迄ニ完了スル筈ナルカ從來回收武器ハ三二四挺ノ豫定ナリ

縣全般ノ銃器ハ總計五九二一挺ニシテ其内回收見込數ハ一二〇九挺ナリ銃器現在數内譯ハ小銃一六〇五、同彈丸七一六七二、拳銃七五三、同彈丸二〇四五六、機關銃一、同彈丸四〇〇、洋砲三五六二。

回收豫定數ハ小銃八〇五、同彈丸三九六七二、拳銃四〇三、同彈丸九九

五六、機關銃一、同彈丸四〇〇、合計銃一二〇九、彈丸五〇二九ニシテ之ニ要スル經費ハ二一、二三九圓四〇錢ナリ

洮安縣

(1) 本縣ハ現在匪賊ノ出沒ナク治安ハ概シテ良好ニシテ警察隊、自衛團モ漸次素質向上シ其活動見ルヘキモノアリ

(2) 民間散在武器ノ回收ハ二、三月中ニ於テ長銃六七七挺拳銃二二四挺ニシテ尙今後モ引續キ實施スル豫定ナリ

(3) 宣撫工作ニ就テハ三月二、三日ノ兩日ニ亘リ城内各學校生徒及城内ノ民衆ヲ集合セシメ帝政實施ニ關スル講演ヲナシ并セテ敬老會ヲ催セリ

(4) 交通、通信網ノ整備ニ就テハ經費ノ許ス範圍内ニ於テ自衛團整理ノ失業者等ヲ使役シ道路ノ修築ヲナシ或ハ通信用諸材料ノ購入ニ關シ目下手配中ナリ

鎮東縣

(1) 治安ハ極メテ良好ニ確保セラレアリテ三月十八日ヨリ武器ノ回收ヲ實施シ長銃三二五挺ヲ回收セリ

(2) 宣撫工作ハ御大典當日及二日三日ニ亘リ宣傳ポスターノ貼付及宣傳文
ノ配布並帝政實施ニ關スル講演等ヲ實施シ相當ノ效果ヲ收メタリ

突泉縣

(1) 一月下旬ヨリ二月上旬ニ亘リ高力板警備軍ト協力殘匪ノ討伐ニ努メタ
ル結果殆ント潰滅シタルモノノ如キモ尙山岳地帶ナルヲ利用シ時々現
ハルル事アリ其都度討伐シツツアリテ近々全滅セシメ得ルモノト思料
ス

(2) 從來ヨリノ有給自衛團四ヶ隊人員二百六十名アリタルヲ二月二十日第
二區ノ自衛團六十二名ヲ解散セシメ更ニ其他ノ各團ヨリ十名計九十二
名ヲ整理セリ残り百七十四名中第三區ニ於テ五十七名ヲ解散セシメ他
ハ時期ヲ見テ逐次解散セシムヘク立案中ナリ

(3) 三月一日ヨリ保甲制度ヲ實施セルニ其成績極メテ良好ナリ

(4) 民間散在武器ハ總數二千七百十七挺ニシテ今日迄ニ回收シ得タル數ハ
長銃百二十九挺拳銃七挺ニシテ四月中ニ長銃二百挺拳銃五十挺ヲ回收
スル豫定ナリ

開通縣

- (1) 民間散在武器ノ回收ハ不取敢三月二十四日縣城內ヲ六區ニ分テ六箇班ヲ以テ回收ヲ實施セリ總數百五十三挺ニシテ內百十三挺ヲ回收シ特ニ所持ヲ必要ト認メタル官公署、銀行會社四十挺ヲ許可セリ
縣下ニ於ケル散在武器ノ回收ハ四月五日保甲制度ノ實施以後之ヲ實施スヘク計畫中ナリ
- (2) 保甲制度ノ實施ハ三月二十一日ヨリ着手シ四月五日迄ニ完了ノ豫定ニシテ順調ニ進捗シツツアリ
- (3) 自衛團ハ四月五日ヲ以テ完了實施スヘキ保甲制度ニヨリ全部ノ解散ヲ見其大部分ハ歸農セシメ優良ナル者ノミヲ警察隊ニ編入セシムヘク目下考究中ナリ
- (4) 宣撫工作ハ縣城內ニ於テハ三月一日ヨリ三日迄ノ御大典慶祝大會ヲトシ帝政實施ニ關スル講演官民合同ノ旗行列、貧困者ニ對スル無料施療御下賜金及本委員會ヨリ支出セル百二十五圓ヲ合シテ極貧者ニ對シ給食等ヲ實施セリ而シテ縣下ニハ三月十日ヨリ出動セリ民間銃器調査班ニ隨行セシメ縣內ト略同一ノ工作ヲ實施セリ